

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館 7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin g.com/>



日経住まい博を襲った 大地震と液状化現象

「建築・建材展2011」(第17回)は3月8日から11日まで東京ビックサイトに開催。

特別展示には「国産材の魅力2011」を企画。国産材の普及拡大に取り組む企業や団体を総合的に紹介。小学校校舎などで設計施工された木造建築物の実例や国産材を活用した新技術の建築資材の情報が集った。

最終日の11日は、地震のために

15時15分に閉館。本誌関係者からも電話が入り、「国産材長期優良住宅のモデル展示の2階にいたら、ものすごく揺られて落ちそうになった」との報告があった。

3月末まで東京ビックサイトでのイベントは中止となり、ジャパン建材フェアも中止となるなど、住宅業界が大打撃を受けた。

【詳細は本誌5月号】

津波で壊滅した陸前高田 プレハブ住宅に希望の光

宮城県気仙沼市から県境を越えて岩手県陸前高田市に向かった。陸前高田市は人口3万人。砂浜の広がる景勝地が広がり、昔からみそや醤油の醸造やりんごの産地で知られる、川沿いではうなぎやアユもとれる町だ。

峠道を越えると青空に無人の廃墟が広がっていた。かつての面影はどこにもない。どうしたら良いのかと思いつながら道沿いをしばらく

く進むと気仙川沿いの傾斜地に1棟のプレハブ小屋が見えた。珍しい光景だった。宮城県では建築制限がかかっているため当面は浸水地域での建築が禁じられている。岩手県では認められているのだろうか。

小屋のそばの椅子に腰かけていたのは熊谷立郎さん(78歳)。昭和7年生まれ。3代続く気仙大工だという。気仙大工とは、昭和初

